第42期

私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指しています

お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力

第2四半期
決算短信補足資料
2021

40th ANNIVERSARY 1981-2021

お蔭様で40周年

2021年8月10日

SOLXYZ
株式会社ソルクシーズ

JPX
東証一部上場
証券コード：4284

社名について

社名の「ソルクシーズ」は、アルファベット表記では、“SOLXYZ” と書きます。
SOLXYZ とは “solution” と “xyz” を合成したもので、
究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。
私たちは、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

ロゴマークについて

ロゴマークは、“ & ” をデザインしたものです。
お客様と、株主様と、社員と、パートナーと共に成果を…　の気持ちを込めています。
“ & ” は元々 “e” と “t” の合字によって形成されたもので、
“et” はラテン語で “und”（～と共に）を意味します。

SOLXYZ

経営の基本方針

当社グループは最新の情報技術（ＩＴ）を駆使し、お客様にご満足頂ける最適なＩＴソリューションを提供することを基本方針とし、この方針に沿った継続的な努力により社業の拡大・発展を期します。また、最適なＩＴソリューションの提供を通じ、社会に貢献することを会社の使命といたします。

経営のモットー

「愛と夢のある企業」を目指します。合理性に裏打ちされた厳しさは当然必要ですが、ともすれば合理性に偏重しがちなソフトウェア開発が仕事の中心であればこそ、その経営には愛と夢が必要と考えます。

経営理念

１．　高い技術力を持ち社会に貢献する
２．　お客様に最高の満足を提供する
３．　皆が夢を持ち続けられる企業をめざす
４．　新ビジネス・新技術へチャレンジする
５．　グローバル企業をめざす

激変する業務環境、根底から変わりつつある業務構造に合わせ、私たち自身の意識、スキル、業務プロセスを変えてまいります。若いメンバーからなる組織のまとまりを活かし、スピードを大事にしながら、大胆な発想の下、変化に果敢に挑戦し続けます。また、こうした姿勢があってはじめて同じような状況におかれているお客様の変革を支えることが出来るものと確信しております。

ソルクシーズの歩み

設立～店頭公開まで

- 1981 2月 ㈱エポックシステム設立
- 1998 1月 ㈱トータルシステムコンサルタントと合併。新商号は㈱エポック・ティーエスシー
- 2001 4月 **商号を㈱ソルクシーズに変更**
- 2001 7月 **日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録（現 JASDAQ）**

グループ会社設立～一部上場まで

- 2003 3月 ㈱エフ・エフ・ソルを設立
- 2004 6月 ㈱エンカレッジ・テクノロジに資本参加
- 2005 12月 ㈱イー・アイ・ソルを設立
- 2006 4月 SBI ホールディングス㈱と資本・業務提携
- 2007 5月 ㈱インフィニットコンサルティングを設立
- 2007 7月 ㈱エーアイと資本・業務提携
- 2007 11月 丸紅㈱と業務提携
- 2007 11月 ㈱ノイマンの株式取得　㈱ teco 譲受
- 2008 3月 ㈱インターコーポレーションの株式取得（現インターディメンションズ）
- 2008 9月 ㈱エクスモーションを設立
- 2009 12月 ㈱コアネクストを設立
- 2010 11月 ㈱アスウェアを設立
- 2015 10月 アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク合同会社を設立
- 2015 12月 **東京証券取引所 市場第二部に株式上場**
- 2016 6月 **東京証券取引所 市場第一部に株式上場**

グループ会社上場～今後の躍進

- 2017 4月 ㈱ニューイング・ソフトと業務提携
- 2017 5月 豊田通商㈱と資本・業務提携
- 2017 6月 ㈱アックスに資本参加
- 2018 7月 ㈱エクスモーションが東京証券取引所マザーズ 市場に株式上場
- 2018 7月 ジーフィット㈱と資本・業務提携
- 2019 2月 東京都港区芝浦に本社を移転
- 2019 5月 ㈱ Fleekdrive を会社分割により新設
- 2019 12月 ㈱ノイマンが㈱ teco を吸収合併
- 2020 4月 ㈱アリアドネ・インターナショナル・コンサルティングを子会社化
- 2021 2月 ㈱インターディメンションズの株式をグループ外へ譲渡
- 2021 40th ANNIVERSARY 1981-2021
  2021 年はソルクシーズの設立 40 周年の年です

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

2021年度 第2四半期 連結実績・個別実績

2021 年度　第２四半期概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
連結業績の推移（過去５年間） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
要約連結貸借対照表（５ヶ年推移）/（前期末比増減） ・・・・・・・・・3
個別業績の推移（過去５年間）/ 前期比増減分析（個別） ・・・・・・ 4
業種別売上 / 売上上位２０社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
要約個別貸借対照表（５ヶ年推移）/（前期末比増減） ・・・・・・・・・6

企業集団の状況・トピックス・当社の強み

企業集団の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2021 年度　これまでのトピックス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
当社の強み ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2021年度 計画

業種別市場動向 / 取り組み方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2021 年度 通期業績予想（連結）/ 中期計画 ・・・・・・・・・・・・ 11

資料

従業員の推移 / 株主の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
会社情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

第２四半期実績サマリー

ソルクシーズ

□ 金融系はクレジット向け開発の顧客における開発需要が堅調、増収増益
□ 産業系は通信向けの開発案件が引き続き伸長し、増収増益
□ 機器販売はコロナ禍で普及したテレワーク向け設備需要が一巡する
□ 全般的にはDX 化を含むIT 投資が戻りつつあり、売上・利益ともに過達で進捗

グループ各社

□ エクスモーション
一部顧客において、予算執行に遅れはあるものの徐々に解消へ向かっている。増収増益
□ アスウェア
引き続き ICT 投資を背景に、堅調に推移。増収増益
□ ノイマン
コロナ禍に対応するソリューションであるオンライン教習ツールの提供を開始、出足好調。増収増益
□ Fleekdrive
テレワーク需要により、新規契約数は前年同期比を上回り売上は着実に増加傾向
□ イー・アイ・ソル
半導体業界好調の支えもあり、受託開発案件および予知保全案件ともに伸長し増収増益

足元の事業環境

ソルクシーズ

□ 金融系のシステム開発の引き合いは、銀行、クレジットについては順調に推移する見込み。証券についても回復傾向
□ クレジット向け大規模案件が今年も複数予定されており、要員確保が課題となる
□ クレジット向け案件が継続する背景は、キャッシュレス化の推進とEC の拡大による好調な経済環境を原資としたICT 投資によるもの
→QR コード決済との連携、PCIDSS・3D セキュア等のセキュリティ強化、新規カードの発行、既存システムの更改など
→開発要員は勿論のこと、クレジット業務に精通した業務SE 不足が課題となっている
□ 産業系は、安定した開発案件受注が続く

グループ各社

□ エクスモーション
自動車メーカーにおける需要の戻りが遅れていたが、徐々に解消されつつある
□ Fleekdrive
エンタープライズセールスを強化し、大口アカウント獲得を今後図る
□ イー・アイ・ソル
鉄道系を中心に、計測系／制御系の受託開発、状態監視／予知保全システムの引き合いは引き続き堅調に推移
□ その他のグループ各社
金融系のクレジット、銀行、証券システム開発の受託は概ね順調に推移する見込み。産業系の開発案件も堅調の見込み
エッジコンピューティング系の引き合いも順調に推移する見込み

（単位：百万円）

	2020 年 12 月期 第２四半期実績	2021 年 12 月期 第２四半期計画	**2021 年 12 月期 第２四半期実績**	計画 達成率	前期比 伸び率
売上高	6,400	7,000	**6,944**	99.2%	＋ 8.5%
営業利益	360	400	**628**	157.2%	＋ 74.6%
四半期純利益	255	640	**816**	127.6%	＋ 219.0%

注力する領域の状況

Cloud
Fleekdrive 中心。Fleekdrive を土台にして機能拡充を図り、ERP として訴求出来るサービスに育てる

IoT
イー・アイ・ソルが状態監視／予知保全システムを推進。本体における見守りシステムも引き続き推進

CASE
エクスモーションが自動車各社に対してソフトウェア設計の支援を継続。CASE の内、自動運転、EV、コネクティビティが中心

FinTech
SBI グループの事業支援を継続。SBI グループ各社のFinTech 系の企業に要員派遣を継続。地銀再編関連は、小規模から展開中

AI
㈱アックスの知見を活かして、顧客への提案活動に繋げるべく活動中

その他

新たな取り組みなど

□ **40 周年**
2021 年はソルクシーズの設立40 周年の年です。これまでの知見を活かしてDX を推進し、グループの総力を挙げて、企業価値向上に努めて参ります
□ **SDGs**
40 周年を機に、SDGs を経営に取り入れる事としました。持続可能な開発目標を掲げる事で、企業としても持続可能である事を目指します

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響など

□ グループ全体の影響
今期は大きな影響は発生していないものの、感染拡大が続く場合、ICT 投資にも影響が出る可能性あり

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績の推移（過去5年間）

（単位：百万円）

	2017 年度 第２四半期実績		2018 年度 第２四半期実績		2019 年度 第２四半期実績		2020 年度 第２四半期実績		2021 年度 第２四半期計画		**2021 年度 第２四半期実績**（注１）			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	**金額**	**売上高比**	**計画達成率**	**前期比伸び率**
売上高	7,009	100.0%	6,446	100.0%	6,654	100.0%	6,400	100.0%	7,000	100.0%	**6,944**	**100.0%**	**99.2%**	**8.5%**
ソフトウェア開発事業	（注２）5,758	82.2%	5,047	78.3%	5,148	77.4%	4,711	73.6%	5,200	74.3%	**5,259**	**75.7%**	**101.2%**	**11.6%**
コンサルティング事業	372	5.3%	473	7.3%	545	8.2%	586	9.2%	600	8.6%	**576**	**8.3%**	**96.1%**	**△ 1.6%**
ソリューション事業	878	12.5%	926	14.4%	960	14.4%	1,102	17.2%	1,200	17.1%	**1,107**	**15.9%**	**92.3%**	**0.4%**
売上原価	5,753	82.1%	5,198	80.6%	5,179	77.8%	4,940	77.2%	5,400	77.1%	**5,156**	**74.3%**	**95.5%**	**4.4%**
売上総利益	1,256	17.9%	1,248	19.4%	1,475	22.2%	1,460	22.8%	1,600	22.9%	**1,787**	**25.7%**	**111.7%**	**22.4%**
販売管理費	1,022	14.6%	1,026	15.9%	1,106	16.6%	1,100	17.2%	1,200	17.1%	**1,159**	**16.7%**	**96.6%**	**5.3%**
営業利益	234	3.3%	221	3.4%	368	5.5%	360	5.6%	400	5.7%	**628**	**9.1%**	**157.2%**	**74.6%**
営業外損益	159	2.3%	7	0.1%	7	0.1%	21	0.3%	-	n.a.	**31**	**0.5%**	**n.a.**	**47.3%**
経常利益	393	5.6%	229	3.6%	375	5.6%	381	6.0%	500	7.1%	**660**	**9.5%**	**132.1%**	**73.1%**
特別損益	0	0.0%	5	0.1%	2	0.0%	11	0.2%	-	n.a.	**82**	**1.2%**	**n.a.**	**642.3%**
税金等調整前四半期純利益	393	5.6%	234	3.6%	378	5.7%	392	6.1%	500	7.1%	**742**	**10.7%**	**148.5%**	**89.1%**
法人税等・法人税等調整額	153	2.2%	107	1.7%	136	2.1%	124	1.9%	△ 140	△ 2.0%	**△ 93**	**n.a.**	**66.5%**	**n.a.**
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 1	n.a.	0	n.a.	25	n.a.	12	n.a.	-	n.a.	**19**	**0.3%**	**n.a.**	**54.0%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	239	3.4%	126	2.0%	216	3.3%	255	4.0%	640	9.1%	**816**	**11.8%**	**127.6%**	**219.0%**
減価償却費	150	2.2%	181	2.8%	103	1.5%	115	1.8%	-	n.a.	**145**	**2.1%**	**n.a.**	**26.0%**
のれん償却費	22	0.3%	22	0.3%	22	0.3%	22	0.4%	-	n.a.	**11**	**0.2%**	**n.a.**	**△49.4%**

		2017 年度 6月末	2018 年度 6月末	2019 年度 6月末	2020 年度 6月末	**2021 年度 6月末**
純資産額	（百万円）	4,606	6,500	6,253	6,601	**7,415**
（前期比）	（百万円）	（＋ 589）	(+1,894)	（△ 246）	(+347)	**(+814)**
総資産額	（百万円）	9,756	12,686	12,094	11,752	**11,559**
（前期比）	（百万円）	（＋ 1,113）	(+2,701)	（△ 600）	（△ 342）	**（△ 193）**
１株当たり純資産額	（円）	369.39	515.42	467.01	496.38	**551.54**
１株当たり四半期純利益金額	（円）	19.83	10.27	17.50	21.40	**67.40**
自己資本比率	（%）	46.3	50.2	46.9	50.5	**58.0**

セグメントの定義

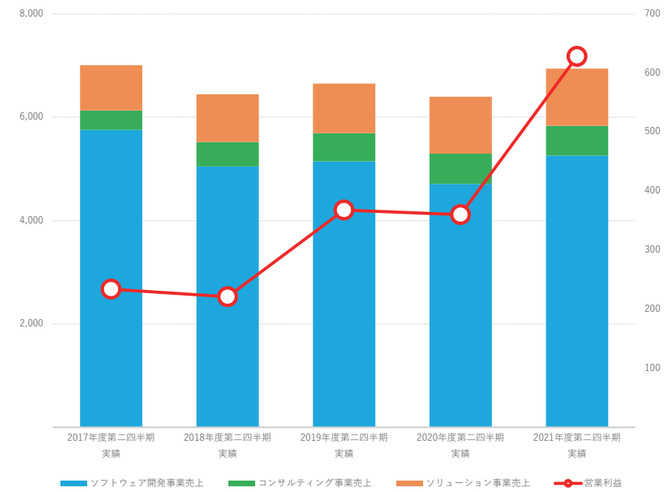
■ソフトウェア開発事業
委託を受けて行う情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までのサービスの売上等の SI 業務（注３）、並びに保守管理（AMO）、機器販売の売上を指し、組織的にはソルクシーズの各部の売上、連結子会社エフ・エフ・ソル、コアネクスト、アスウェアの各売上を対象としています。

■コンサルティング事業
ソフトウェア開発の上流工程における設計支援、システム構築の企画・提案等のコンサルティングサービスの売上を指し、組織的には連結子会社インフィニットコンサルティング、アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング、エクスモーションの売上を対象としています。

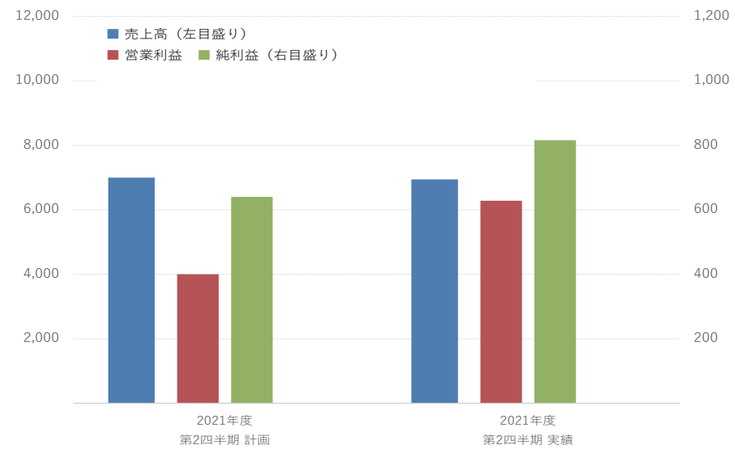
■ソリューション事業
パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ（周辺システムの開発を含む）、保守等の売上を指し、組織的には連結子会社ノイマン、Fleekdrive、イー・アイ・ソルの売上を対象としています。
インターディメンションズはグループ外へ譲渡しましたので、2021 年 1 月までの売上を対象にしています。

（注１） 各年度の第２四半期実績は、１月～６月の累計実績です。
（注２） 過年度においてもセグメント別に集計し、数値を見直しております。
（注３） 「SI」は SystemIntegration の略であり、SI 業務とはプログラムの作成のみでなく、システム開発に必要な一連の作業、すなわちシステムの企画・立案、必要なハードウェア、ソフトウェアの選定・導入、完成したシステムの保守・管理までを総合的に行うことを指します。「AMO」は ApplicationManagementOutsourcing の略であり、業務システムの保守作業のアウトソーシング業務を指します。

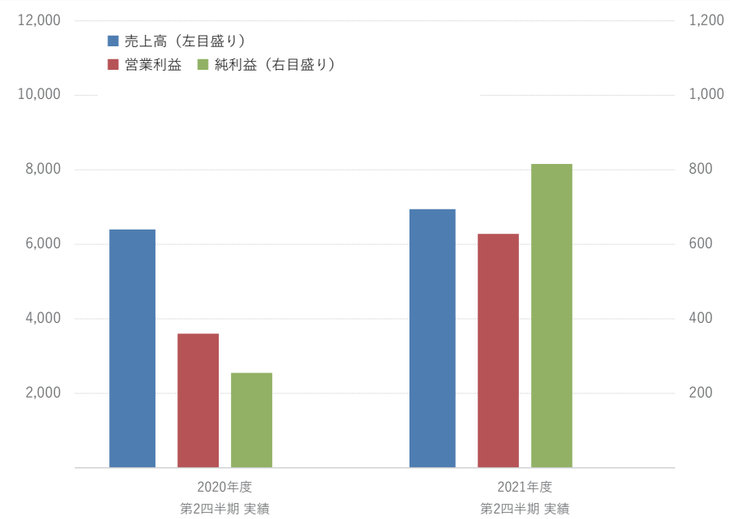
セグメント別売上高 及び 営業利益の推移



計画比



前年同四半期比



Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約連結貸借対照表（５ヶ年推移）

（単位：百万円）

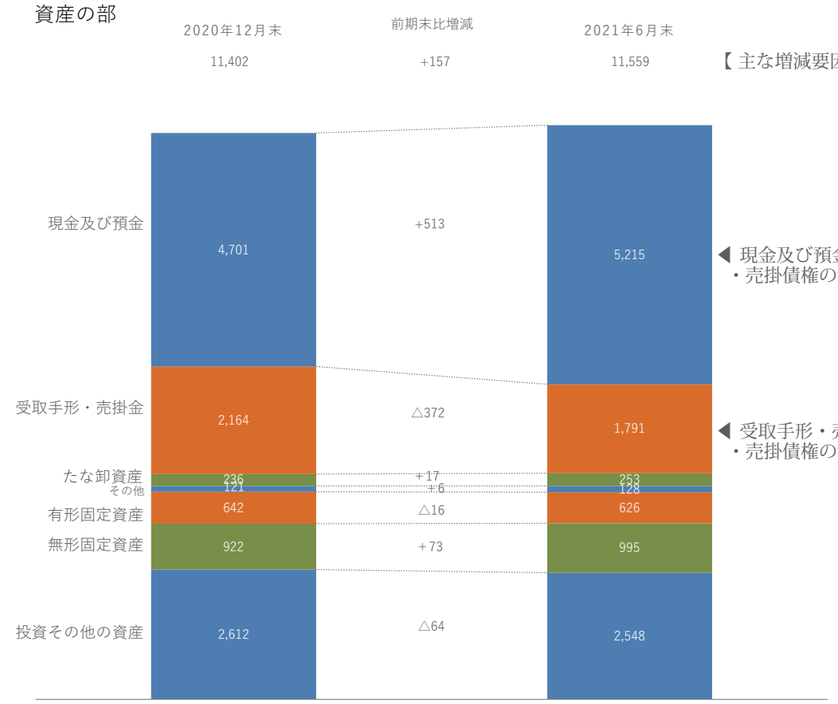
	2017 年度 6月末		2018 年度 6月末		2019 年度 6月末		2020 年度 6月末		2020 年度 12 月末		2021 年度 6月末			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期末比増減	前期末比増減率
【資産の部】														
Ⅰ 流動資産	6,863	54.1%	6,863	54.1%	7,647	63.2%	7,335	62.4%	7,224	63.4%	7,389	63.9%	164	2.3%
1．現金及び預金	3,814		3,814		5,500		4,965		4,701		5,215		513	10.9%
2．受取手形・売掛金 (注1)	2,261		2,261		1,789		1,907		2,164		1,791		△ 372	△ 17.2%
3．たな卸資産	632		632		239		316		236		253		17	7.3%
4．その他	154		154		117		146		121		128		6	5.6%
Ⅱ 固定資産	5,823	45.9%	5,823	45.9%	4,447	36.8%	4,417	37.6%	4,177	36.6%	4,170	36.1%	△ 7	△ 0.2%
1．有形固定資産	557	4.4%	557	4.4%	699	5.8%	669	5.7%	642	5.6%	626	5.4%	△ 16	△ 2.5%
(1) 建物	39		39		190		167		153		142		△ 10	△ 7.0%
(2) 機械・器具・車両	44		44		82		82		71		67		△ 4	△ 5.9%
(3) 土地	462		462		415		411		411		411		0	0.0%
(4) リース資産	9		9		11		7		5		4		△ 1	△ 20.8%
2．無形固定資産	1,058	8.3%	1,058	8.3%	706	5.8%	906	7.7%	922	8.1%	995	8.6%	73	7.9%
(1) のれん	121		121		82		36		14		2		△ 11	△ 80.7%
(2) ソフトウェア	935		935		622		867		906		991		84	9.4%
(3) その他	1		1		1		1		1		1		0	△ 0.0%
3．投資その他の資産	4,207	33.2%	4,207	33.2%	3,041	25.1%	2,842	24.2%	2,612	22.9%	2,548	22.0%	△ 64	△ 2.5%
(1) 投資有価証券	3,535		3,535		1,931		1,962		1,647		1,384		△ 263	△ 16.0%
(2) その他	672		672		1,110		879		964		1,163		198	20.6%
資産合計	12,686	100.0%	12,686	100.0%	12,094	100.0%	11,752	100.0%	11,402	100.0%	11,559	100.0%	157	1.4%
【負債の部】														
Ⅰ 流動負債	2,988	23.6%	2,988	23.6%	2,958	24.5%	2,471	21.0%	2,852	25.0%	2,121	18.4%	△ 731	△ 25.6%
1．支払手形・買掛金	970		970		781		481		514		456		△ 57	△ 11.3%
2．短期借入金	792		792		820		796		860		430		△ 430	△ 50.0%
3．１年以内返済予定長期借入金	497		497		445		381		359		473		113	31.6%
4．その他	728		728		911		811		1,118		761		△ 357	△ 31.9%
Ⅱ 固定負債	3,197	25.2%	3,197	25.2%	2,882	23.8%	2,679	22.8%	1,733	15.2%	2,022	17.5%	288	16.6%
1．長期借入金	818		818		824		761		755		1,028		273	36.2%
2．退職給付に係る負債	1,769		1,769		1,793		1,705		750		753		2	0.3%
3．役員退職慰労引当金	218		218		222		185		197		207		10	5.1%
4．その他	391		391		40		26		30		32		2	9.5%
負債合計	6,186	48.8%	6,186	48.8%	5,840	48.3%	5,150	43.8%	4,586	40.2%	4,143	35.8%	△ 442	△ 9.7%
【純資産の部】														
Ⅰ 株主資本	4,559	35.9%	4,559	35.9%	4,997	41.3%	5,160	43.9%	5,516	48.4%	6,174	53.4%	658	11.9%
1．資本金	1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		0	0.0%
2．資本剰余金	1,724		1,724		2,330		2,304		2,277		2,256		△ 20	△ 0.9%
3．利益剰余金	1,735		1,735		1,785		2,201		2,538		3,149		610	24.0%
4．自己株式	-394		-394		△ 614		△ 839		△ 793		△ 725		68	△ 8.7%
Ⅱ その他の包括利益累計額	1,807	14.2%	1,807	14.2%	678	5.6%	775	6.6%	588	5.2%	530	4.6%	△ 58	△ 9.9%
1．評価差額金	1,874		1,874		713		736		547		488		△ 58	△ 10.8%
2．退職給付に係る調整累計額	-66		-66		△ 34		39		41		42		0	1.3%
Ⅲ 新株予約権	8	0.1%	8	0.1%	3	0.0%	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	△ 1	△ 83.6%
Ⅳ 非支配株主持分	125	1.0%	125	1.0%	574	4.8%	662	5.6%	708	6.2%	710	6.1%	1	0.3%
純資産合計	6,500	51.2%	6,500	51.2%	6,253	51.7%	6,601	56.2%	6,815	59.8%	7,415	64.2%	600	8.8%
負債・純資産合計	12,686	100.0%	12,686	100.0%	12,094	100.0%	11,752	100.0%	11,402	100.0%	11,559	100.0%	157	1.4%

（注１）進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

要約連結貸借対照表（前期末比増減）

■総資産は前期末比 157 百万円増加し、11,559 百万円となりました
■純資産は前期末比 600 百万円増加し、 7,415 百万円となりました

資産の部

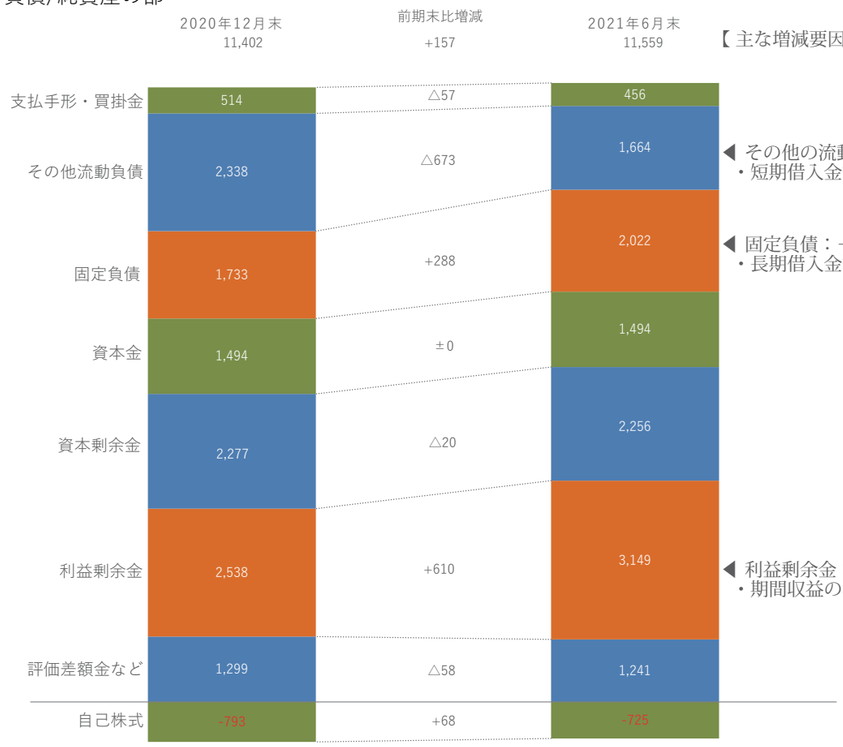


【 主な増減要因 】

◀ 現金及び預金：＋ 513
・売掛債権の減少により増加

◀ 受取手形・売掛金：△ 372
・売掛債権の減少に伴うもの

負債/純資産の部



【 主な増減要因 】

◀ その他の流動負債：△ 673
・短期借入金等の減少に伴うもの

◀ 固定負債：＋ 288
・長期借入金等の増加に伴うもの

◀ 利益剰余金：＋ 610
・期間収益の増加に伴うもの

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved

個別業績の推移（過去5年間）

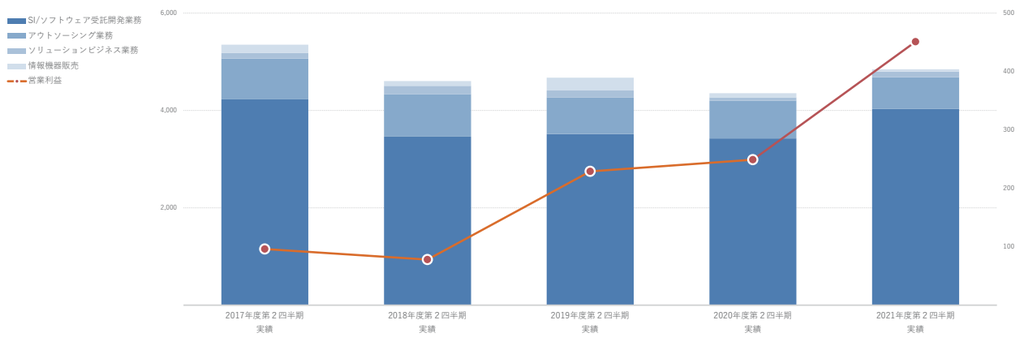
（単位：百万円）

	2017 年度 第２四半期実績		2018 年度 第２四半期実績		2019 年度 第２四半期実績		2020 年度 第２四半期実績		2021 年度 第２四半期実績		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	5,351	100.0%	4,604	100.0%	4,674	100.0%	4,354	100.0%	**4,847**	**100.0%**	**11.3%**
SI/ソフトウェア受託開発業務	4,227	79.0%	3,461	75.2%	3,516	75.2%	3,425	78.7%	4,030	83.1%	17.7%
アウトソーシング業務	839	15.7%	874	19.0%	746	16.0%	778	17.9%	651	13.4%	△ 16.3%
ソリューションビジネス業務	111	2.1%	170	3.7%	148	3.2%	64	1.5%	116	2.4%	81.4%
情報機器販売	173	3.2%	97	2.1%	262	5.6%	86	2.0%	48	1.0%	△ 44.1%
売上原価	4,593	85.8%	3,874	84.2%	3,771	80.7%	3,516	80.8%	**3,754**	**77.5%**	**6.8%**
売上総利益	758	14.2%	729	15.8%	902	19.3%	838	19.2%	**1,092**	**22.5%**	**30.4%**
販売管理費	661	12.4%	651	14.1%	673	14.4%	588	13.5%	**641**	**13.2%**	**9.0%**
営業利益	96	1.8%	78	1.7%	229	4.9%	249	5.7%	**451**	**9.3%**	**80.8%**
営業外損益	175	3.3%	26	0.6%	17	0.4%	27	0.6%	**107**	**2.2%**	**294.2%**
経常利益	272	5.1%	104	2.3%	247	5.3%	276	6.4%	**558**	**11.5%**	**101.9%**
特別損益	0	0.0%	5	0.1%	3	0.1%	11	0.3%	**4**	**0.1%**	**△ 58.2%**
税金等調整前四半期純利益	272	5.1%	110	2.4%	250	5.4%	287	6.6%	**563**	**11.6%**	**95.7%**
法人税等・法人税等調整額	82	1.5%	38	0.8%	74	1.6%	72	1.7%	**△ 173**	**△ 3.6%**	**△ 338.8%**
四半期純利益	190	3.6%	72	1.6%	176	3.8%	215	4.9%	**737**	**15.2%**	**242.4%**

セグメントの定義
（連結業績の売上高のセグメントは「ソフトウェア開発事業」、「コンサルティング事業」及び「ソリューション事業」となっておりますが、個別では「ソフトウェア開発事業」のみであるため、ここでは個別プロジェクトの内容に照らし、「ソフトウェア開発事業」をより詳細に区分しております）

■ＳＩ／ソフトウェア受託開発業務：委託を受け、情報システムの分析、設計からプログラム開発及び移行までを行うサービスの売上を指します。
■アウトソーシング業務　：ソフトウェア保守の売上を指します。
■ソリューションビジネス業務　：パッケージソフト、ソリューションサービスの売上に加え、セキュリティコンサルティング及びパッケージ 導入に関わるカスタマイズ開発の売上を含みます。
■情報機器販売　：ハードウェア、周辺機器、関連ソフトの売上を指します。

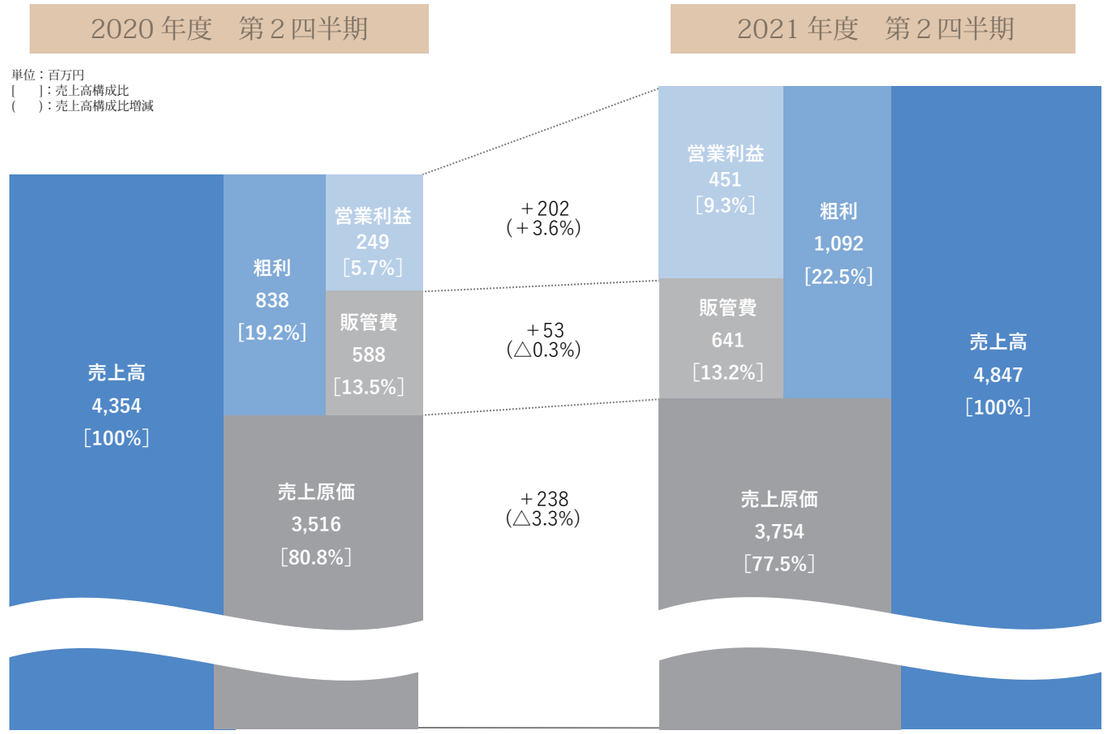
セグメント別売上高 及び 営業利益の推移



		2017 年度 6月末	2018 年度 6月末	2019 年度 6月末	2020 年度 6月末	2021 年度 6月末
資本金（注1）	（百万円）	1,494	1,494	1,494	1,494	**1,494**
期末発行済株式総数	（株）	13,410,297	13,410,297	13,410,297	13,410,297	**13,410,297**
純資産額	（百万円）	3,586	5,239	4,007	4,100	**4,789**
（前年同四半期比）	（百万円）	(+399)	(+1,652)	(△ 1,231)	(+92)	**(+689)**
総資産額	（百万円）	7,721	10,406	8,872	8,389	**8,607**
（前年同四半期比）	（百万円）	(+648)	(+2,685)	(△ 1,534)	(△ 483)	**(+218)**
1株当たり配当額	（円）	0.00	0.00	0.00	0.00	**0.00**
自己資本比率	（%）	46.9	50.3	45.1	48.9	**58.0**

（注1）期末発行済株式総数には自己株式を含んでいます。

前期比増減分析（個別）



1 売上高（前年同四半期比 +492 百万円、 前年同四半期比伸び率 +11.3%）

（業務別内訳）

① ＳＩ／ソフトウェア開発（＋ 607 百万円、＋ 17.7%）
　増収：クレジット、通信、その他金融　減収：その他産業、官公庁、流通
② アウトソーシング（△ 126 百万円、△ 16.3%）
　増収：通信、銀行　　減収：クレジット、証券、その他産業、生損保
③ ソリューション（＋ 52 百万円、＋ 81.4%）
　増収：流通、製造業　減収：無し
④ 情報機器（△ 38 百万円、△ 44.1%）
　テレワーク向け設備需要が落ち着く等により減収

（業種別内訳（情報機器販売を除く））

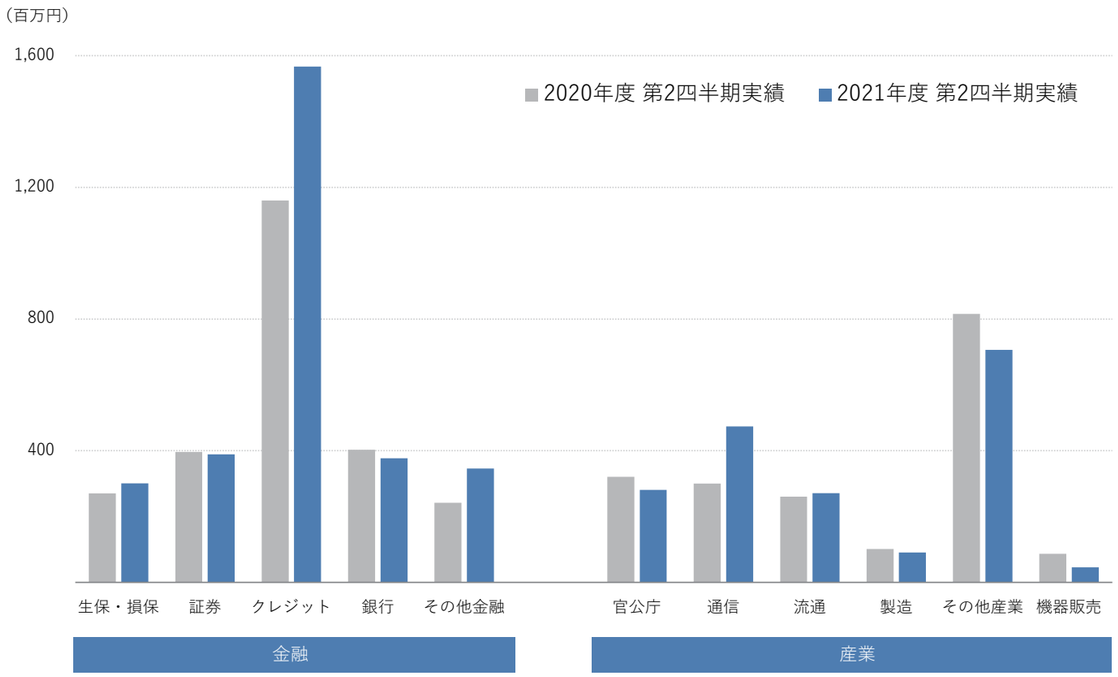
① 増収：クレジット、通信、その他金融、生損保、流通
② 減収：その他産業、官公庁、銀行、製造業、証券

2 粗利金額・粗利率（前年同四半期比 ＋254 百万円、前年同四半期比伸び率＋30.4%・粗利率増減＋3.3%）

① ＳＩ／ソフトウェア開発（＋ 238 百万円）
　増益：クレジット、通信、その他金融、銀行、証券、生損保　　減益：その他産業、流通、官公庁
② アウトソーシング（△ 117 百万円）
　増益：クレジット、銀行、通信　　減益：その他産業、流通、証券、生損保
③ ソリューション（＋ 33 百万円）
　増益：流通、その他産業、製造業　　減益：無し
④ 情報機器（△ 5 百万円）
　売上減少による

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

業種別売上（個別）



（単位：百万円）

	2020年度 第2四半期 実績			2021年度 第2四半期 実績			
	金額	粗利率（注2）	売上高比	金額	粗利率（注2）	売上高比	前期比伸び率
金融（注1）	2,470	20.8%	56.7%	2,979	24.6%	61.5%	20.6%
生保・損保	270	—	6.2%	300	—	6.2%	11.3%
証券	395	—	9.1%	388	—	8.0%	△ 1.8%
クレジット	1,159	—	26.6%	1,566	—	32.3%	35.1%
銀行	402	—	9.3%	376	—	7.8%	△ 6.5%
その他金融	241	—	5.6%	345	—	7.1%	42.9%
産業（注1）	1,797	21.4%	41.3%	1,822	22.7%	37.6%	1.4%
官公庁	320	—	7.4%	280	—	5.8%	△ 12.4%
通信	300	—	6.9%	473	—	9.8%	57.8%
流通	260	—	6.0%	270	—	5.6%	4.1%
製造	101	—	2.3%	90	—	1.9%	△ 10.4%
その他産業	815	—	18.7%	706	—	14.6%	△ 13.3%
情報機器販売	86	8.0%	2.0%	45	2.1%	0.9%	△ 47.4%
合計	4,354	20.8%	100.0%	4,847	23.7%	100.0%	11.3%

（注１）メーカー系等のお客様を通じる間接受託開発の場合は最終顧客の業種によって分類しています。
（注２）粗利率は売上が計上されたプロジェクト毎の売上利益を集計して計算しています。一方、損益計算書上の「売上総利益」はプロジェクトが特定されない原価等も控除しているために、両者には差異があります。

売上上位20社（個別）

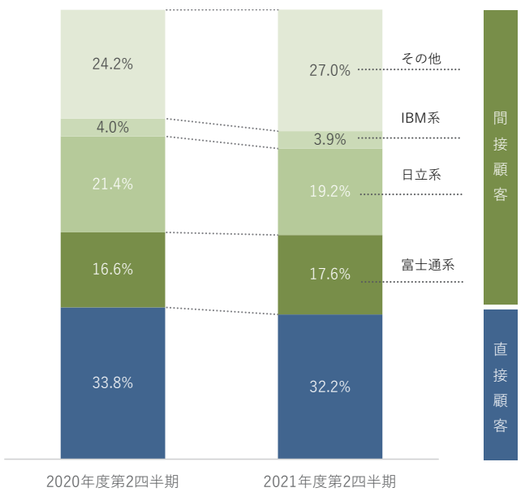
（単位：百万円）

順位	社名	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	直接顧客	コメント
1	クレジット系開発会社A社	277	624		
2	富士通系開発会社A社	482	614		クレジット、証券、流通等
3	日立系開発会社A社	553	568		通信、銀行、証券等
4	サービサーA社	209	314	直	
5	富士通系開発会社B社	116	182		通信、流通、銀行等
6	流通系開発会社A社	80	134	直	
7	クレジット系A社	95	128	直	
8	日立系開発会社B社	85	124		官公庁、通信、その他産業
9	損保系A社	101	119	直	
10	日立系開発会社C社	107	110		官公庁
11	IBM系開発会社A社	92	109		通信、流通、製造業
12	金融系サービスA社	135	104	直	
13	証券系A社	112	102	直	
14	銀行A社	0	86	直	
15	証券系B社	57	85	直	
16	独立系開発会社A社	68	81		その他産業
17	商社系開発会社A社	60	78		生損保、銀行
18	IBM系開発会社B社	75	76		クレジット、その他産業
19	クレジット系B社	96	73	直	
20	飲料系A社	106	62	直	

直間別売上と間接売上内訳（注1）

（単位：百万円）

	2020年度 第2四半期 売上	シェア	2021年度 第2四半期 売上	シェア
直接顧客（注2）	1,442	33.8%	1,546	32.2%
間接顧客	2,826	66.2%	3,255	67.8%
富士通系	710	16.6%	847	17.6%
日立系	912	21.4%	924	19.2%
ＩＢＭ系	169	4.0%	185	3.9%
その他	1,033	24.2%	1,297	27.0%
合計	4,268	100.0%	4,801	100.0%



（注１）「直間別売上と間接売上内訳」には情報機器の売上高を含みません。又、シェアは情報機器販売を除く全売上を100%とする各々の売上の比率です。
（注２）「直接顧客」とはユーザーであるお客様から直接受注を受ける場合を指し、「間接顧客」とはユーザーであるお客様から受注した他の第一次受注者から当社が受注する場合を指します。

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約個別貸借対照表（５ヶ年推移）

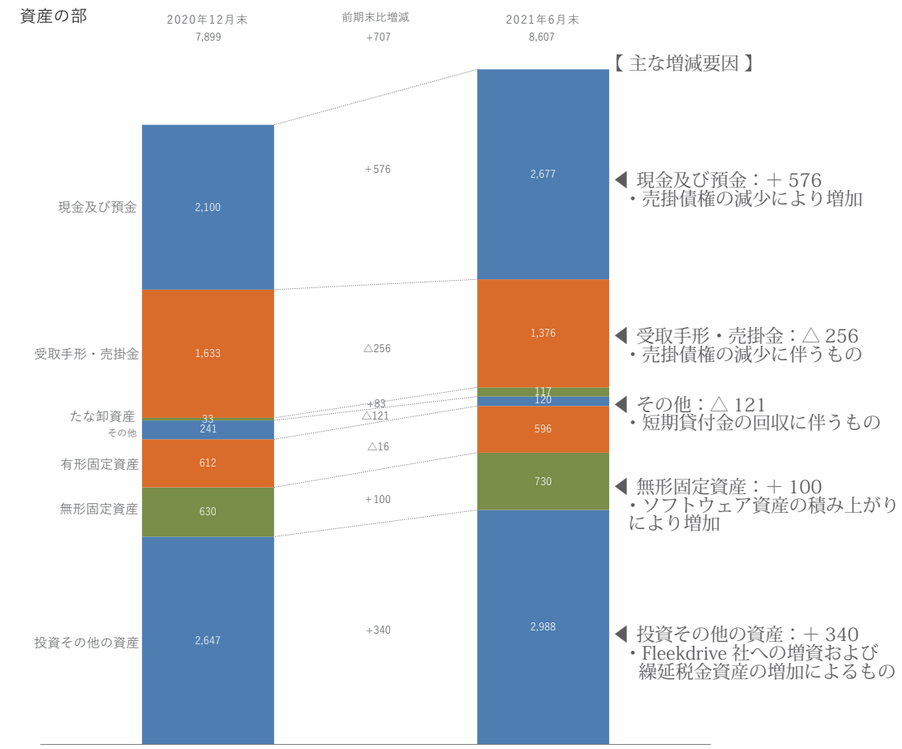
（単位：百万円）

	2017年度6月末		2018年度6月末		2019年度6月末		2020年度6月末		2020年度12月末		2021年度6月末			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期末比増減	前期末比増減率
【資産の部】														
Ⅰ 流動資産	4,050	52.5%	4,931	47.4%	4,732	53.3%	4,214	50.2%	4,009	50.8%	4,291	49.9%	282	7.1%
1．現金及び預金	1,255		2,471		3,106		2,356		2,100		2,677		576	27.5%
2．受取手形	9		23		23		2		27		6		△ 20	△ 74.6%
3．売掛金 (注1)	2,378		1,847		1,384		1,557		1,606		1,370		△ 235	△ 14.7%
4．たな卸資産	308		478		105		107		33		117		83	246.6%
5．その他	98		110		112		190		241		120		△ 121	△ 50.1%
Ⅱ 固定資産	3,671	47.5%	5,475	52.6%	4,140	46.7%	4,174	49.8%	3,890	49.2%	4,315	50.1%	424	10.9%
1．有形固定資産	535	6.9%	519	5.0%	660	7.4%	630	7.5%	612	7.8%	596	6.9%	△ 16	△ 2.6%
(1) 建物	38		27		177		155		144		133		△ 10	△ 7.0%
(2) 機械・器具・車両	34		28		67		63		56		50		△ 106	△ 186.9%
(3) 土地	462		462		415		411		411		411		0	0.0%
2．無形固定資産	862	11.2%	833	8.0%	507	5.7%	674	8.0%	630	8.0%	730	8.5%	100	15.9%
3．投資その他の資産	2,273	29.4%	4,122	39.6%	2,972	33.5%	2,869	34.2%	2,647	33.5%	2,988	34.7%	340	12.9%
(1) 投資有価証券	1,184		3,309		1,706		1,736		1,413		1,337		△ 75	△ 5.4%
(2) 関係会社株式	489		491		554		565		566		800		234	41.3%
(3) 繰延税金資産	346		0		296		252		371		573		201	54.2%
(4) その他	253		322		414		314		295		277		△ 18	△ 6.4%
資産合計	7,721	100.0%	10,406	100.0%	8,872	100.0%	8,389	100.0%	7,899	100.0%	8,607	100.0%	707	9.0%
【負債の部】														
Ⅰ 流動負債	2,135	27.7%	2,321	22.3%	2,265	25.5%	1,748	20.8%	2,024	25.6%	2,000	23.2%	△ 23	△ 1.2%
1．買掛金	551		888		697		387		397		380		△ 17	△ 4.4%
2．短期借入金	660		560		610		610		610		810		200	32.8%
3．1年以内返済予定長期借入金	463		492		437		339		351		465		113	32.4%
4．その他	460		380		520		411		664		344		△ 320	△ 48.2%
Ⅱ 固定負債	1,999	25.9%	2,846	27.4%	2,599	29.3%	2,540	30.3%	1,608	20.4%	1,817	21.1%	208	13.0%
1．長期借入金	392		778		800		745		743		1,020		277	37.3%
2．退職給付引当金	1,399		1,502		1,570		1,592		619		612		△ 7	△ 1.2%
3．役員退職慰労引当金	158		175		171		135		143		151		8	6.0%
4．その他	50		391		57		66		102		32		△ 69	△ 67.9%
負債合計	4,135	53.6%	5,167	49.7%	4,865	54.8%	4,288	51.1%	3,632	46.0%	3,817	44.4%	184	5.1%
【純資産の部】														
Ⅰ 株主資本	3,272	42.4%	3,357	32.3%	3,291	37.1%	3,361	40.1%	3,718	47.1%	4,301	50.0%	583	15.7%
1．資本金	1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		0	0.0%
2．資本剰余金	1,729		1,737		1,742		1,751		1,739		1,723		△ 16	△ 1.0%
3．利益剰余金	492		519		668		955		1,277		1,808		531	41.6%
(1) 利益準備金	38		38		38		38		38		38		0	0.0%
(2) その他利益剰余金	454		481		630		917		1,239		1,770		531	42.9%
4．自己株式	△ 443		△ 394		△ 614		△ 839		△ 793		△ 725		68	△ 8.7%
Ⅱ 評価・換算差額等	305	4.0%	1,874	18.0%	713	8.0%	736	8.8%	547	6.9%	488	5.7%	△ 58	△ 10.8%
1．評価差額金	305		1,874		713		736		547		488		△ 58	△ 10.8%
Ⅲ 新株予約権	9	0.1%	7	0.1%	2	0.0%	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	△ 1	△ 100.0%
純資産合計	3,586	46.4%	5,239	50.3%	4,007	45.2%	4,100	48.9%	4,266	54.0%	4,789	55.6%	522	12.3%
負債・純資産合計	7,721	100.0%	10,406	100.0%	8,872	100.0%	8,389	100.0%	7,899	100.0%	8,607	100.0%	707	9.0%

（注１）進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

要約個別貸借対照表（前期末比増減）

■総資産は前期末比 707 百万円増加し、8,607 百万円となりました
■純資産は前期末比 522 百万円増加し、4,789 百万円となりました



【 主な増減要因 】

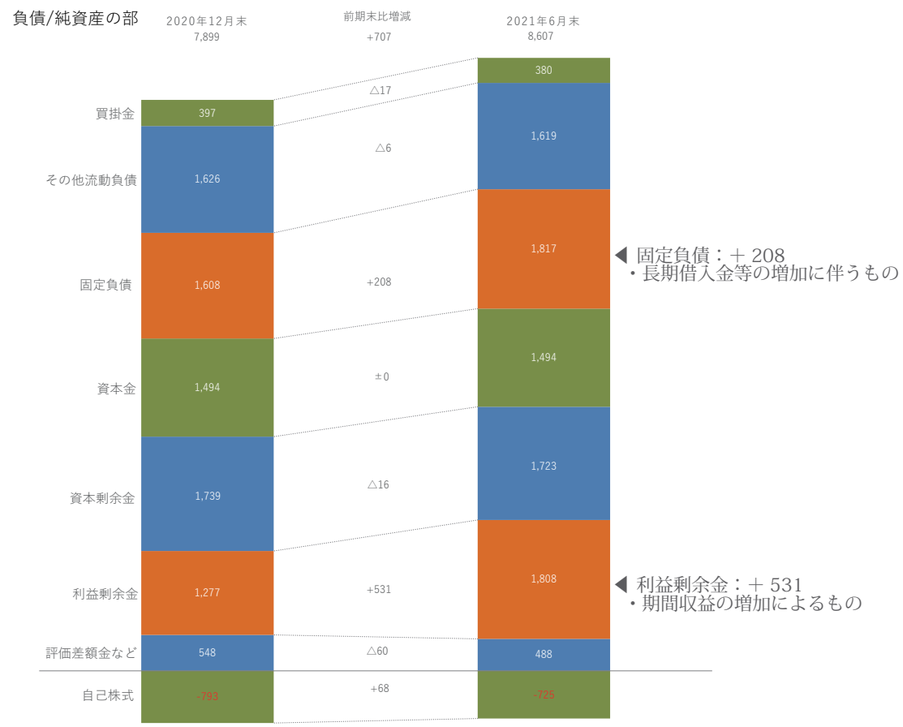
◀ 現金及び預金：＋ 576
・売掛債権の減少により増加

◀ 受取手形・売掛金：△ 256
・売掛債権の減少に伴うもの

◀ その他：△ 121
・短期貸付金の回収に伴うもの

◀ 無形固定資産：＋ 100
・ソフトウェア資産の積み上がりにより増加

◀ 投資その他の資産：＋ 340
・Fleekdrive 社への増資および繰延税金資産の増加によるもの

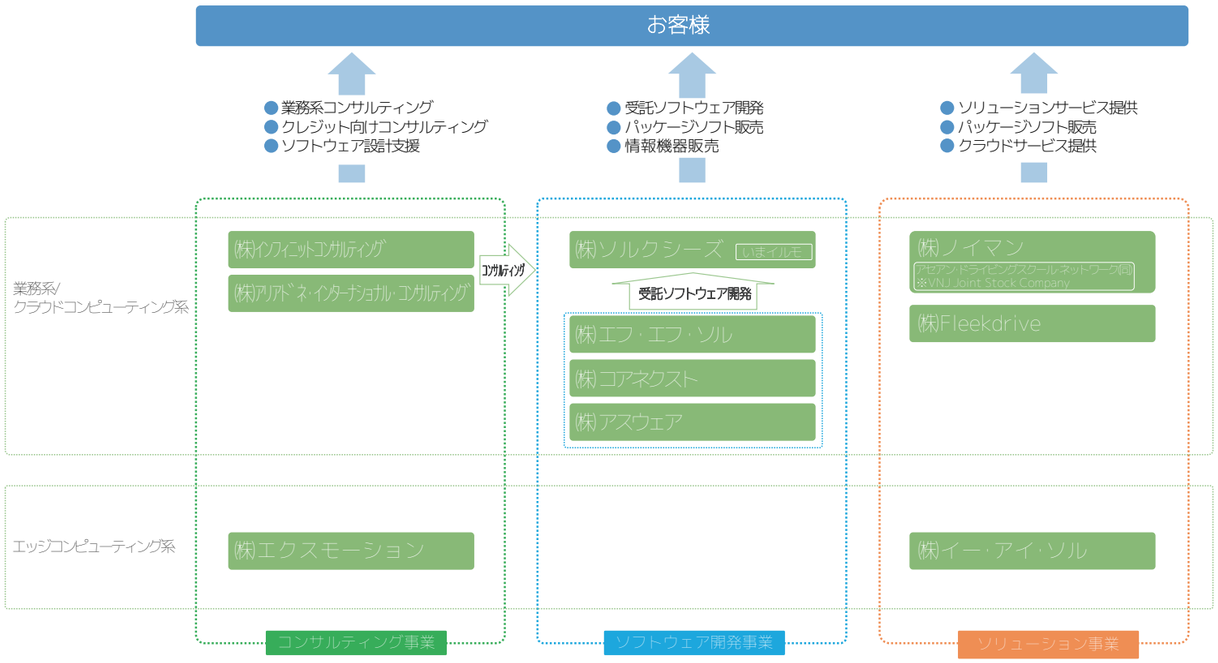


◀ 固定負債：＋ 208
・長期借入金等の増加に伴うもの

◀ 利益剰余金：＋ 531
・期間収益の増加によるもの

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業集団の状況



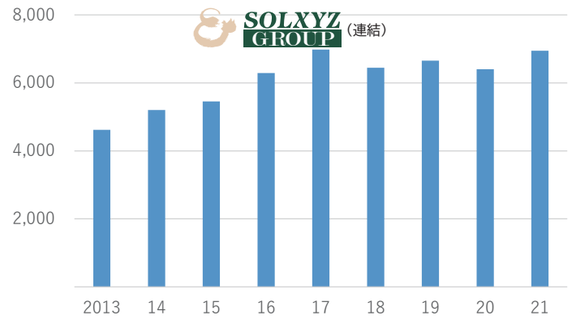
※VNJ Joint Stock Companyは持分法非適用関連会社です

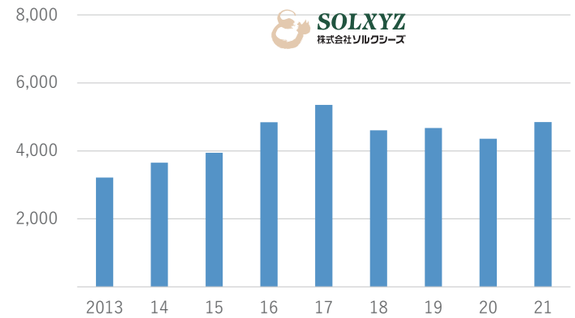
連結対象子会社

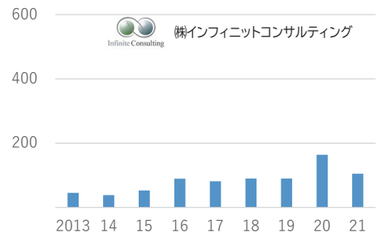
2021年5月末現在

会社名	主な事業の内容	主な顧客	設立年月(注1)(取得年月)	資本金	出資比率
㈱インフィニットコンサルティング	システム開発の上流工程におけるコンサルティングサービス	証券会社、電気メーカー、医療系企業	2007年5月	30百万円	100.0%
㈱アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング	クレジット業務全般に関するシステムの企画・提案、コンサルティングサービス	金融系企業、流通系企業	2020年2月(2020年4月)	18百万円	90.9%
㈱エクスモーション	自動車メーカーや医療機器メーカー等へのソフトウェアエンジニアリングを活用した実践的なコンサルティング	自動車メーカー、医療機器メーカー	2008年9月	445百万円	54.8%
㈱エフ・エフ・ソル	銀行系に特化した受託ソフトウェア開発	ネット系銀行、都市銀行、地方銀行	2003年3月	128百万円	97.0%
㈱コアネクスト	投資顧問業向け等、証券バイサイドの受託ソフトウェア開発	投資信託、投資顧問	2009年12月	9百万円	100.0%
㈱アスウェア	ＩＣＴインフラの企画・構築・保守	SIベンダー、通信系企業	2010年11月	9百万円	100.0%
㈱ノイマン(注2)	自動車教習所向け各種ソリューション提供 WEBマーケティングに関するコンサル・企画	全国の自動車教習所等(シェア6割以上)	1984年9月(2007年11月)	245百万円	100.0%
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	ノイマンの各種ソリューションをベトナムに展開するための支援	—(注3)	2015年10月	1百万円	75.7%(注4)
㈱Ｆｌｅｅｋｄｒｉｖｅ	ファイル共有で業務を変える、チームを繋げる企業向けクラウドストレージの提供	全業種	2019年5月	155百万円	100.0%
㈱イー・アイ・ソル	組込・制御・計測関連ソフトの開発、販売、その他サービス業務	装置系製造企業、計測機器企業	2005年12月	30百万円	100.0%

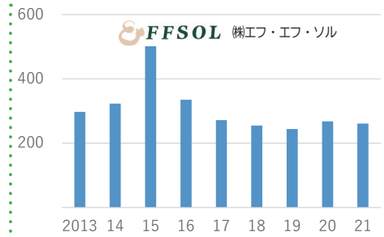
(注1)買収等により連結子会社となった会社については、取得年月を(　)内に記載しております。
(注2)2019年12月1日付けにて㈱ノイマンを存続会社、㈱tecoを消滅会社とする吸収合併を行っております。
(注3)アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)は、営業実績がありませんので記載を省略しております。
(注4)㈱ソルクシーズと㈱ノイマンの合計比率です。
(注5)㈱インターディメンションズは2021年2月12日付けでグループ外へ譲渡しましたので、本表への記載は省略しております。



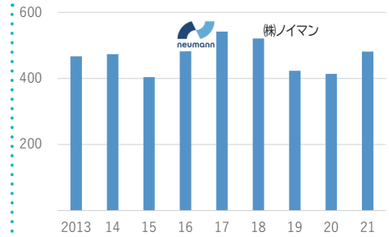




減収減益：新規案件獲得が低調のため、減収減益



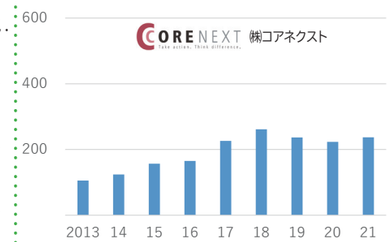
減収増益：FinTech案件が増えつつあり利益率上昇傾向、増益



増収増益：コロナ禍に応じた新サービスも好調なスタート、増収増益

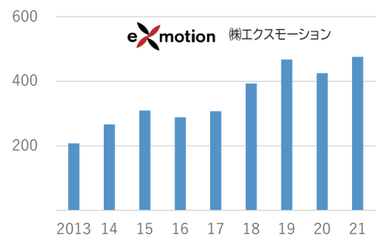
㈱ノイマンと㈱tecoは2019年12月1日付けで合併しましたので、上記グラフの2019年までの値は、両社合算の数字です

コロナ禍による対象企業の活動自粛、投資抑制の影響あり

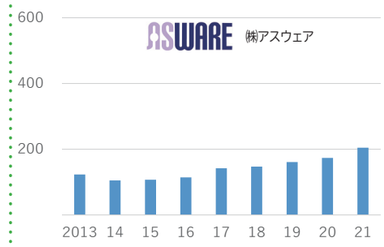


増収減益：金融向け開発案件が回復傾向にあり、増収

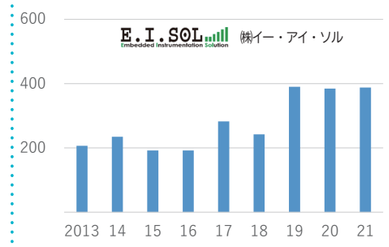
増収：契約数・アカウント数共に堅調に積み上がり、増収



増収増益：コロナ禍により遅延していた予算執行も再開され回復基調、増収増益

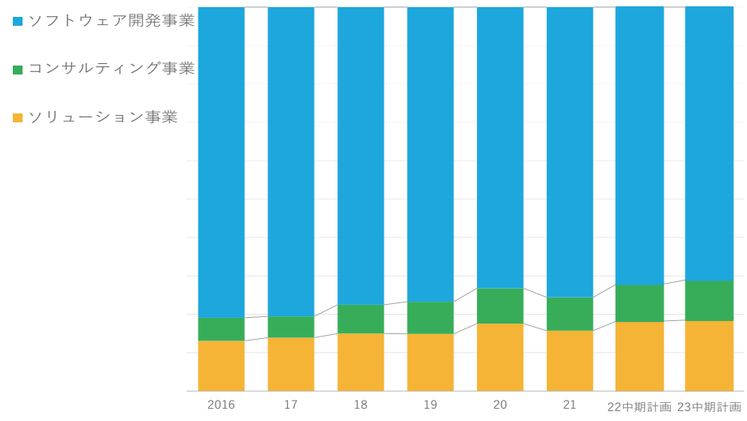


増収増益：豊富な案件を背景に堅調に推移



増収増益：鉄道関係中心にIoTソリューション、受託開発が好調であり、増収

セグメント別売上割合の推移



Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

2021 年度における７月までの各種施策の成果です。
今後も新たな成長分野に向けた積極的な投資を行い、企業価値向上に努めていきたいと考えています。

1 個別クレジット債権管理クラウドサービス「杯王（カップオウ） on Cloud」をリリース

２０２１年６月に㈱ソルクシーズがリリースした「杯王 on Cloud」は、支払い可能見込み額自動計算や簡易スコアリングによる審査サポート、仲介事業者を含めた柔軟な加盟店精算など豊富な機能を有しております。これまで提供をしていた杯王シリーズは、個別クレジット（個品割賦）の受付・審査から請求・入金までの一連業務をサポートするための基幹システムサービスでした。一方で、「杯王 on Cloud」はサブスクリプション型のクラウドサービスで提供することにより、低価格・短納期（最短３０日）が可能となり、スピーディに個別クレジット事業を立ち上げたい中小規模の企業様に最適です。金融分野に強みを持つ㈱ソルクシーズに新しいストックビジネスが加わり、更なる経営の安定化に推進します。

2 オンライン学科教習ツール「Ｎ－ＬＩＮＥ」をリリース

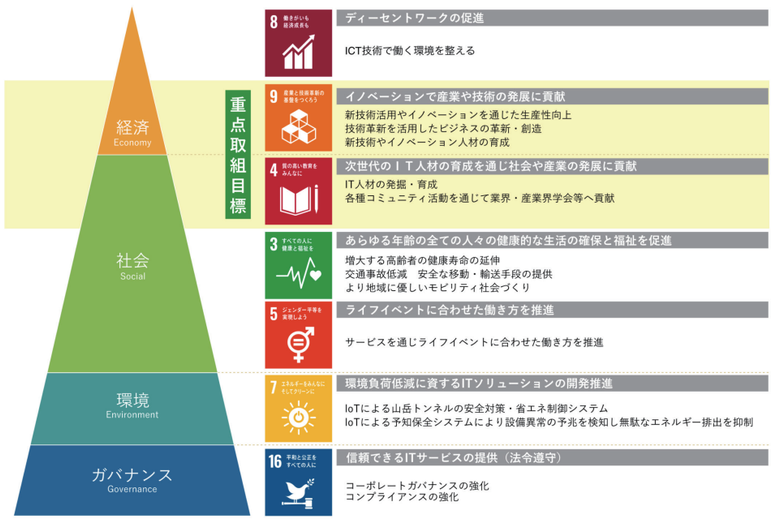
効果測定・学習ｅラーニングシステム「ＭＵＳＡＳＩ」の導入校数業界シェアトップを誇る、自動車教習所向けの IT ソリューションを展開する㈱ノイマンが、指定自動車教習所における学科教習をライブ配信方式（双方向）および録画配信方式（オンデマンド）で受講可能な、オンライン学科学習ツール「Ｎ－ＬＩＮＥ」の提供を開始しました。今般の新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル化の推進等社会情勢の変化を受けて開発したもので、従来、教習所内で行っていた学科教習を、業界初となるライブ配信方式および録画配信方式で行えるようにしました。今年度の目標導入校数５０校に対し、２０２１年７月現在、既に８０校を越える自動車教習所様よりお申込みを頂いております。「Ｎ－ＬＩＮＥ」は、ノイマンが提供している自動車教習所向けソリューションとのコラボレーションが可能であり、「Ｎ－ＬＩＮＥ」導入を機に、他社製品からノイマンへの乗り換えも増加しております。

3 ＤＸイノベーションチャレンジ２０２１にプラチナスポンサーで参画

組込み人材育成のために２０１５年に始まったＩｏＴイノベーションチャレンジは、エンジニアの技術力を高めるだけでなく、ＩｏＴを活用したビジネスの企画立案の領域まで拡大し育成をしていましたが、昨近、ＤＸの必要性が加速する現在において、イノベーション人材の育成が課題となっていることを受け、ＤＸイノベーションチャレンジと冠を変えました。デジタル社会実現のために必要不可欠な「ビジネスをデザインする能力」と「企業システム全体を俯瞰して捉える能力」を養う場を提供する実践プロジェクトを運営しております。併せて、こうしたＤＸ推進人材が活躍できる環境作りを担う経営者を支援するプログラムも提供します。その主旨に共感し、㈱ソルクシーズはプラチナスポンサーとして参画し、本プロジェクトの運営を支援しております。
詳しくは、URL：https://innovation-challenge.biz/ をご覧下さい。

4 ソルクシーズグループのＳＤＧｓ達成に向けた重点取り組み目標

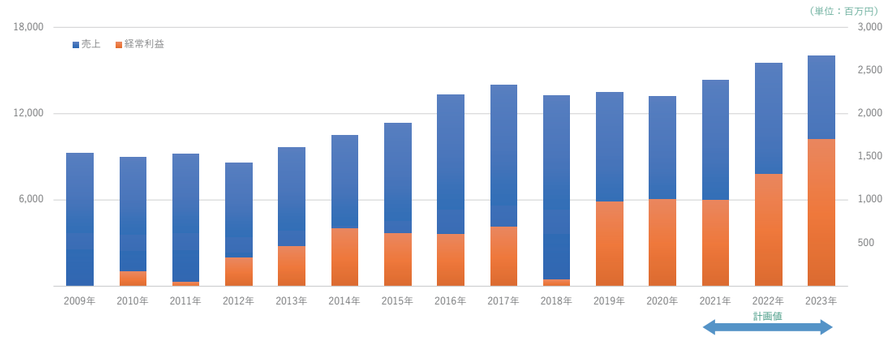
㈱ソルクシーズは、今年、４０周年を迎えました。この節目を契機に、原点である経営モットーと経営理念を軸に、ＳＤＧｓを経営に取り入れることで社会対応力を高めてまいります。ソルクシーズグループが注力する「ＦｉｎＴｅｃｈ」「ＡＩ」「ＩｏＴ」「ＣＡＳＥ」「クラウド」などの技術を駆使したＤＸビジネスを推進し、深刻化する地球規模の課題解決の一助となるソリューションを創出し、事業を通じて持続可能な社会の実現に寄与したいと考えております。尚、ソルクシーズグループでは、ＳＤＧｓの１７の目標に対し、４と９を重点目標に設定しております。
詳しくは、URL：https://www.solxyz.co.jp/sustainability/ をご覧下さい。

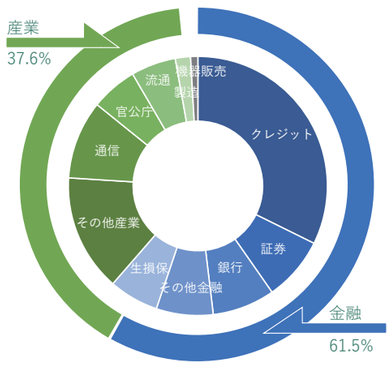


SDGsの17の目標に対し、4と9を重点目標に設定しました。

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 安定的な経営基盤





継続的な成長

サブプライムローン問題や大震災などを起因とする経済不況を乗り越え、成長を継続
新型コロナウイルス感染症の影響も小規模に留まる

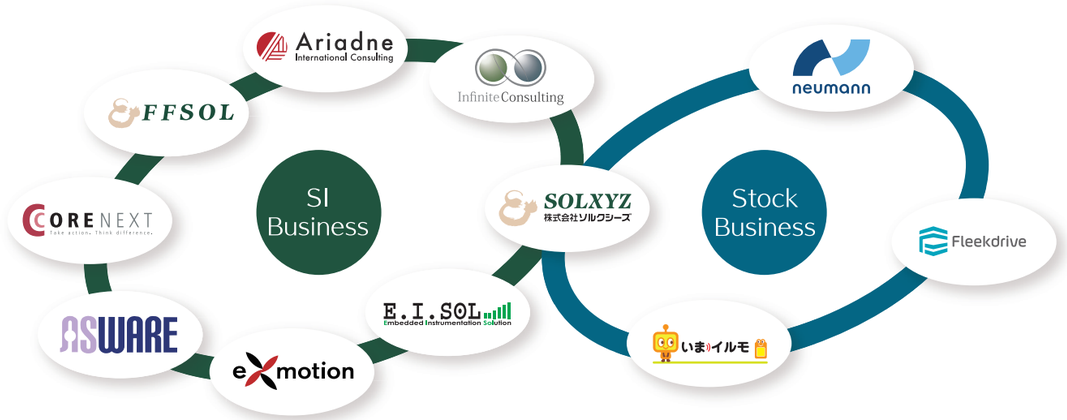
強固な顧客基盤

直接ご支援させて頂いている金融業界のお客様を主軸に、各方面のお客様とのお取引を長年に亘り継続

注：グラフは個別の数値です

2 多彩なグループ構成

SIビジネスとストック型ビジネスの両輪で顧客のビジネスを支援
システム構築をワンストップで支援。インフラ構築からシステム企画・設計・開発、更にクラウドを始めとする各種サービス・ソリューションの提供など、様々な要望に対応



株式会社ソルクシーズ
各業種に特化したITサービスとソリューションの提供
■ 証券、信販・クレジット、生損保
■ 情報・通信、メディア、製造、流通
■ 官公庁
■ セキュリティサービス

株式会社 インフィニットコンサルティング
システムの企画・提案に関するコンサルティング、システムマネジメント支援
■ 銀行、証券、信販・クレジット
■ 情報・通信、メディア、製造、流通

株式会社 アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング
クレジット業務全般に関するシステムの企画・提案、コンサルティングサービス
■ 信販・クレジット

株式会社 エフ・エフ・ソル
銀行を中心としたソフトウェア受託開発事業、オープン系パッケージソフトの開発・販売
■ 銀行・信用金庫

株式会社 コアネクスト
投資信託行・投資顧問会社向けのシステム開発、コンサルティングサービス
■ 投信・投資顧問、J-REIT

株式会社 アスウェア
ICTインフラ分野のコンサルティングから提案・設計・構築まで支援
■ 情報・通信

株式会社 エクスモーション
オブジェクト指向技術を用いた、組込システムの設計支援、人材育成のサポートなど実践型コンサルテーション
■ 製造（自動車・OA機器）

株式会社 イー・アイ・ソル
組込・制御・計測系を中心としたソフトウェア受託開発、ソリューションの開発・販売
■ 製造
■ 官公庁

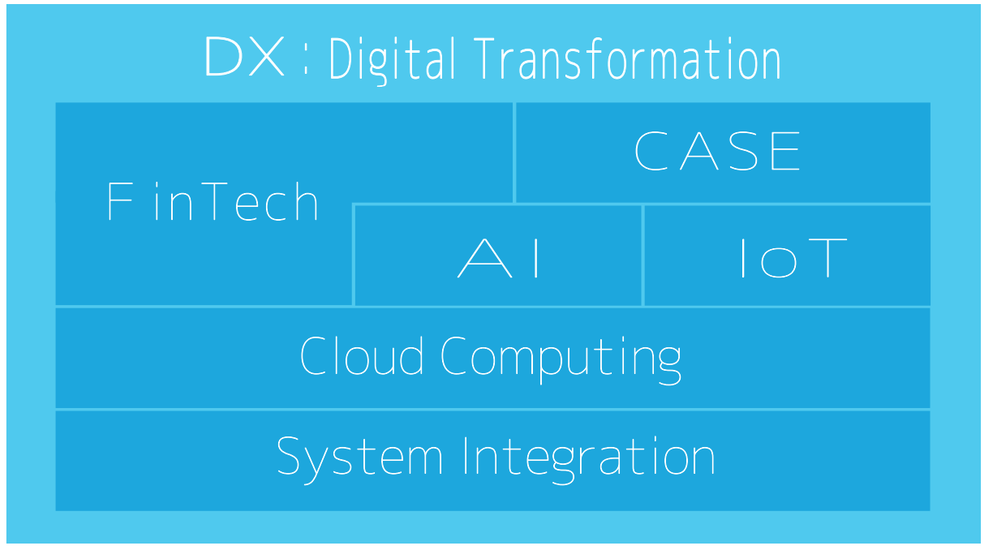
株式会社 ノイマン
自動車教習所向け効果測定や学科学習システム、基幹システムの開発・販売、学生向けキャンプシステムの開発・販売
■ 自動車教習所
■ 学習塾

株式会社 Fleekdrive
企業向けオンラインストレージサービスXXFX、クラウド帳票サービス
■ 各種企業

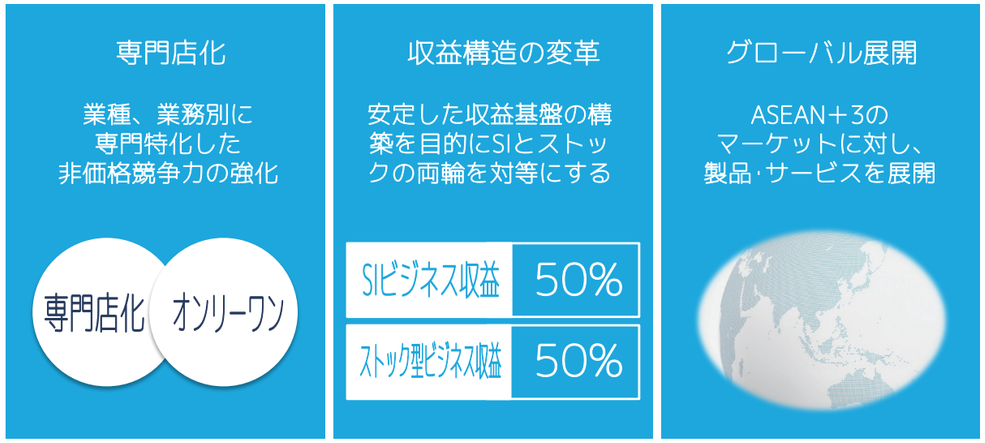
いまイルモ
一般コンシューマー及び施設向けの複数センサーによる見守りシステムの企画・製造・販売
■ 一般家庭、介護施設

3 成長分野への積極投資

様々な領域に必要とされる新しい分野に向けて、積極的にビジネスを展開



4 3つの成長戦略により業績向上



Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 金融全般

新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響は、ワクチン接種の進展に伴う正常化に向け、少し明るい兆しが見え始めたものの、依然不透明な環境が継続しています。銀行の業務範囲規制が秋季に緩和されることとなり、資金繰り支援に追加して、より社会課題解決へのサービス対応が求められます。今後もＩＴ化への加速、ＳＤＧｓ推進など積極的な発展が考えられます。

■ 銀行

銀行各社は手数料収益から新しいサービスによる収益への変革が必須となり、人員削減や店舗スリム化などの経費削減を進める一方で顧客ニーズの変化にスピード感を持って対応するために、非金融事業者とのアライアンスによる新たな金融サービスも提供されはじめ、ＦｉｎＴｅｃｈやＤＸ(注1)による銀行サービスの変化が加速し、ＩＴ投資が進むと見込まれます。

■ クレジット

巣ごもり需要によるＥＣ等の商品購入決済、非対面決済需要等の追い風で、好調な業績となってるものの、延滞顧客の増加や不良債権処理等の経営を圧迫する要因が増加しています。その様な環境の中、延滞債権管理システムの構築や、eKYC(注2)の導入、非接触 IC 決済、個人情報非保持化、PCI-DSS 対応(注3)、3D セキュア(注4)等のセキュリティ強化にも力を入れており、更なるＩＴ投資が見込めます。

■ 証券

「人生１００年時代」に対応した資産形成への対応として、ＮＩＳＡ制度の拡充・恒久化や確定拠出年金制度の拡充など投資（資産形成）へのさらなる促進が進みます。このため、ブロックチェーン技術を活用した株や債権等の発行・流通、いわゆる金融イノベーションを支えるＩＴ投資は実用段階に向けますます活発化してゆきます。

2 通信・放送

通信各社の競争が継続している状況で、テレワークなどにより通信料は増加するも料金値下げ等もあり ARPU(注5)は下落が続く模様。５Ｇの開始により各社コンテンツによる差別化を図る傾向にあり、そのためＩＴ投資が増えていくと推測されます。

3 小売・流通

２０２１年の後半から回復に向かいますが、業態によって濃淡が出てくる見通しです。百貨店やショッピングセンターは回復が遅れ、ＥＣやドラッグストアが成長していくと考えられます。そのためＥＣの利便性向上を推し進めるＩＴ投資は継続して増加する見込みです。

4 官公庁

新型コロナウイルス感染症の影響により、ＩＴ予算の執行が先送りされており低調な状況にありますが、今後はデジタル庁の創設によりデジタル・ガバメントの実現に向けた行政手続きのオンライン化等の計画が進んでゆき、ＩｏＴ・ＡＩをはじめとする先端技術を駆使したＩＴ投資が見込まれます。

5 製造業

新型コロナウイルス感染症による業績悪化から緩やかに回復基調にあります。今後は構造改革に向け、業務改善、コスト削減等のデジタル化に対するＩＴ投資が加速する見込みです。

(注１)「デジタルトランスフォーメーション（Digital transformation）」とは、「DX」とも呼ばれ「IT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のこと。
(注２)「eKYC(electronc Know Your Customer)」とは「オンラインによる非対面での本人確認」のこと。銀行など他の事業者による取り引き時確認を利用する方法や「顔写真付きの身分証明書と自分の顔」の写った写真を送る、若しくは準じた IC カード形式の身分証データ」を送るという方法がある。
(注３)「PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standards.)」とは、加盟店やサービスプロバイダにおいて、クレジットカードの会員データを安全に取り扱う事を目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準であり、国際カードブランド５社 (American Express、Discover、JCB、MasterCard、VISA) が共同で設立した PCI SSC(Payment Card Industry Security Standards Council) によって運用、管理されている。
(注４)「3D セキュア」とは、クレジットカードによるネットショッピングの決済時に利用される本人認証サービスの一種のこと。3D とは３つの領域 (ドメイン) のことを指しカード発行会社がイシュア領域において、カードホルダを承認し、加盟店契約カード会社はアクワイアラ領域で加盟店を承認する。その中間的な相互運用領域が取引データの受渡を行い認証完了をするという仕組みであり、Visa、MasterCard、JCB が推進している。
(注５) ARPU（Average Revenue Per User）とは、月間電気通信事業収入であり、電気通信事業者の経営状態を示す代表的な指標で、加入者１人当りの平均売上げのこと。

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

環境認識

1 クラウドサービスのニーズの高まり

新型コロナウイルス感染症拡大を背景としたテレワークの採用拡大を追い風に、企業のクラウド利用が進んでいます。今後は単なるデータ共有の目的だけではなく、業務処理のクラウド化も検討されるようになり、機能の充実した環境へのニーズが高まる事が考えられます。

2 ＩｏＴの活用

業種・業界を問わない、様々な企業がＩｏＴへのＩＴ投資に意欲的になっており、業務効率化やコスト削減を目的としたＩｏＴの利用から、ＩｏＴを活用した新しいビジネスの創出にステージが変わりつつあります。今後は、ＩｏＴによって収集したビックデータの分析・解析にＡＩを活用するなども考えられます。

3 ＣＡＳＥの進歩

2020 年より一定の状況下での手放し運転が実用化され、市販車として登場するなど、自動運転に関する進歩は益々高まっています。また、次世代コクピットやスマートミラー、車載センサーのクラウド接続によるコネクテッドカーの進化も予想され、自動車を取り巻く環境が劇的に変化を遂げると考えられます。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの広がり

新型コロナウイルス感染症拡大を背景に EC の利用が進み、個人のネット決済やクレジット利用に拍車が掛かりました。今後はブロックチェーンを核にした様々な業界・業務向けのサービスや、仮想通貨を用いた新たな資金調達手段であるＩＣＯなどの新しいサービスが生まれようとしています。

5 ＡＩ利用の本格化

機械学習をベースとした、クラウド型ＡＩやＡＩスピーカーが日常となり、ＡＩが一般化し始めました。今後は、推論型の本格的なＡＩが企業のサービスに組み込まれたり、働き方改革の実現に向けてＡＩを活用したＲＰＡの導入が始りつつあります。

基本方針

1 クラウドサービスの強化・推進

㈱ Fleekdrive が提供するオンラインストレージサービス「Fleekdrive」、クラウド帳票サービス「Fleekform」を核に、他のサービスとの連携やＡＩを活用した新たな機能・サービスの創出を行います。また、引き続き、海外市場の開拓・拡大を図ります。

2 ＩｏＴの取り組み強化

㈱イー・アイ・ソルを筆頭に、グループを挙げてセンサーを利用したサービスを組み合わせ、ソリューションを創出していきます。また、「いまイルモ」・「TUNNEL EYE」・「状態監視／予知保全システム」などの既存ソリューションについても、拡販に向けた活動を強化します。

3 ＣＡＳＥの取り組み強化

㈱エクスモーションを中心とした自動車業界への支援体制を更に強化し、ＡＩ技術を持つ企業との連携なども視野に入れ、シナジー効果を最大限にする方針です。また、顧客の課題解決を行うだけではなく、課題発見から関わることで、更なる飛躍を目指します。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの取り組み推進

ＦｉｎＴｅｃｈ関連の開発案件の獲得を目的とした技術協力を中心に、ブロックチェーンや仮想通貨に関する開発案件へ参画を開始しています。現在は銀行業務向けが主な取り組みとなりますが、今後は他の金融分野での取り組みも視野に入れた活動を行っていきます。

5 ＡＩの取り組み推進

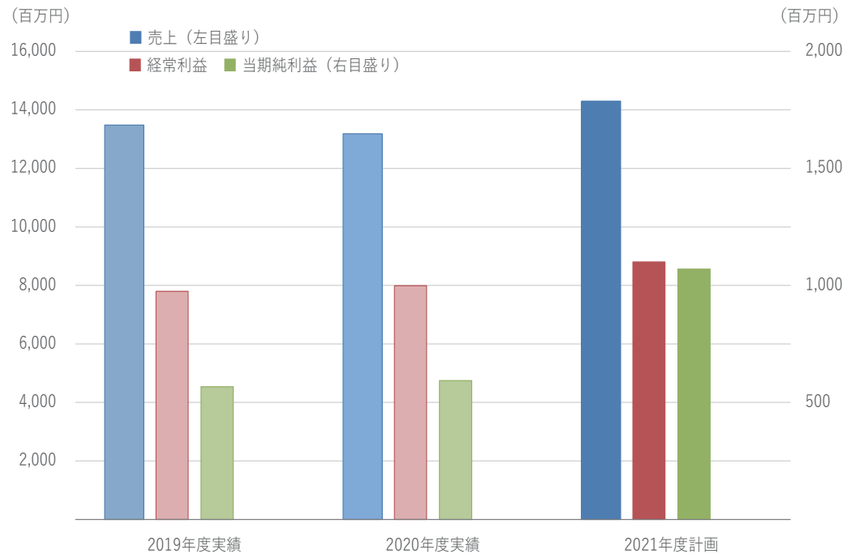
資本参加した企業の持つＡＩ技術を核に、ソルクシーズグループの顧客に対するＡＩ活用の提案活動を開始しています。業務利用に効果的なＡＩ技術を用いて、横展開可能なソリューション開発を目指します。

2021年度 通期連結業績予想

2021 年度連結業績予想は、2020 年度における新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した計画となっております。
なお、下記計画は㈱インターディメンションズの株式譲渡による影響を加味した数値となっております。

（単位：百万円）

通期	2019 年度実績		2020 年度実績		2021 年度計画		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	13,478	100.0%	13,186	100.0%	**14,300**	**100.0%**	**8.4%**
ソフトウェア開発事業	10,175	75.5%	9,817	74.5%	**10,600**	**74.1%**	**8.0%**
コンサルティング事業	1,199	8.9%	1,170	8.9%	**1,300**	**9.1%**	**11.1%**
ソリューション事業	2,103	15.6%	2,198	16.7%	**2,400**	**16.8%**	**9.1%**
売上原価	10,408	77.2%	10,122	76.8%	**11,000**	**76.9%**	**8.7%**
売上総利益	3,070	22.8%	3,063	23.2%	**3,300**	**23.1%**	**7.7%**
販売管理費	2,123	15.8%	2,215	16.8%	**2,300**	**16.1%**	**3.8%**
営業利益	946	7.0%	848	6.4%	**1,000**	**7.0%**	**17.9%**
経常利益	975	7.2%	999	7.6%	**1,100**	**7.7%**	**10.1%**
親会社株主に帰属する当期純利益	567	4.2%	593	4.5%	**1,070**	**7.5%**	**80.4%**



中期計画

中期計画については毎年見直し（ローリング）を行う方針に則り、最近の業績動向や経営環境の変化等を踏まえ、2021 年から 2023 年までの見直しを行いました。
今後も、経営環境の変化が予想されることを踏まえこうした変化に適切に対応するため、中期計画については毎年見直し（ローリング）を行っていく予定です。
尚、今回予想の中期計画は、2020 年度の新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、2019 年度計画の中期計画を踏襲する計画となりました。2023 年度以降、当初計画にキャッチアップする予定です。

中期計画の基本方針

1 経営基盤の強化

既存事業を再評価し、経営資源の成長分野への傾斜的集中と不採算部門の再構築を進める。成長分野については、十分なフィージビリティスタディーとグループ内シナジー効果の確認の下、積極的な進出・強化を図る。

2 本業であるＳＩビジネスの競争力強化

業種・業務別の専門特化戦略を継続推進し、非価格競争力を強化する。
オフショア･ニアショア開発の積極的利用による価格競争力の強化と､お客様との低コストメリットの共有化を推進する。

3 ストック型ビジネスの強化・拡大

クラウドサービス「Fleekdrive」･「Fleekform」や､IoT による見守りサービス「いまイルモ」､IoT ソリューションである「状態監視／予知保全」などについては、引き続き強化・推進し、事業基盤の強化と収益安定化に向けて注力していく。最終的には SI ビジネスと並ぶ収益の柱として育て、利益比率で５０：５０にする。
また、クラウド・AI・IoT の活用など、ICT 市場における技術の変化に対応し、グループの持つソリューションの更なる拡大について、継続的に推進する。

4 海外マーケットの開拓

海外マーケットに対し、グループ内外の優れた製品・サービスを積極的かつスピーディーに紹介・展開し、新たなストック型ビジネスとして拡大する。
特に成長著しい ASEAN マーケットに対して、グループの持つ製品・サービスの展開を図るべく、推進する。

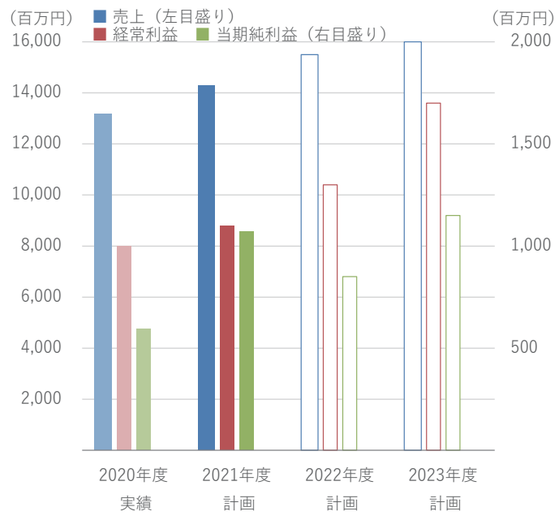
連結中期計画の売上高・利益目標

	2020 年度（実績）
売上高	13,186
（経常利益率）	(7.6%)
経常利益	999
親会社株主に帰属する当期純利益	593

（単位：百万円）

	2021 年度（計画）	2022 年度（計画）	2023 年度（計画）
売上高	14,300	15,500	16,000
（経常利益率）	(7.7%)	(8.4%)	(10.6%)
経常利益	1,100	1,300	1,700
親会社株主に帰属する当期純利益	1,070	850	1,150

（注）当中期計画は㈱インターディメンションズの株式譲渡による影響を加味した数値となっています



Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

従業員の推移

個別

（単位：人）

	2019 年 12 月期		2020 年 12 月期		2021 年 12 月期
	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）
全従業員	488	480	471	469	496
内　女性数	71	72	71	74	87
事業本部（技術）	428	423	419	411	431
営業本部	18	16	15	15	26
経営企画、管理本部他	42	41	37	43	39
平均年齢（歳）		42.5		42.5	
平均勤続年数（年）	―	14.4	―	15.0	―
平均年収（万円）		597		591	
	（第 2 四半期）		（第 2 四半期）		（第 2 四半期）
新卒採用人数	15	―	21	―	30
初任給（千円／月）	220		220		220

連結

（単位：人）

	2019 年 12 月期		2020 年 12 月期		2021 年 12 月期
	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）	（12 月末）	（6 月末）
全従業員	750	741	746	755	790
内　女性数	121	121	122	125	147
事業本部（技術）	639	630	636	640	664
営業本部	53	50	52	51	64
経営企画、管理本部 他	58	61	58	64	62

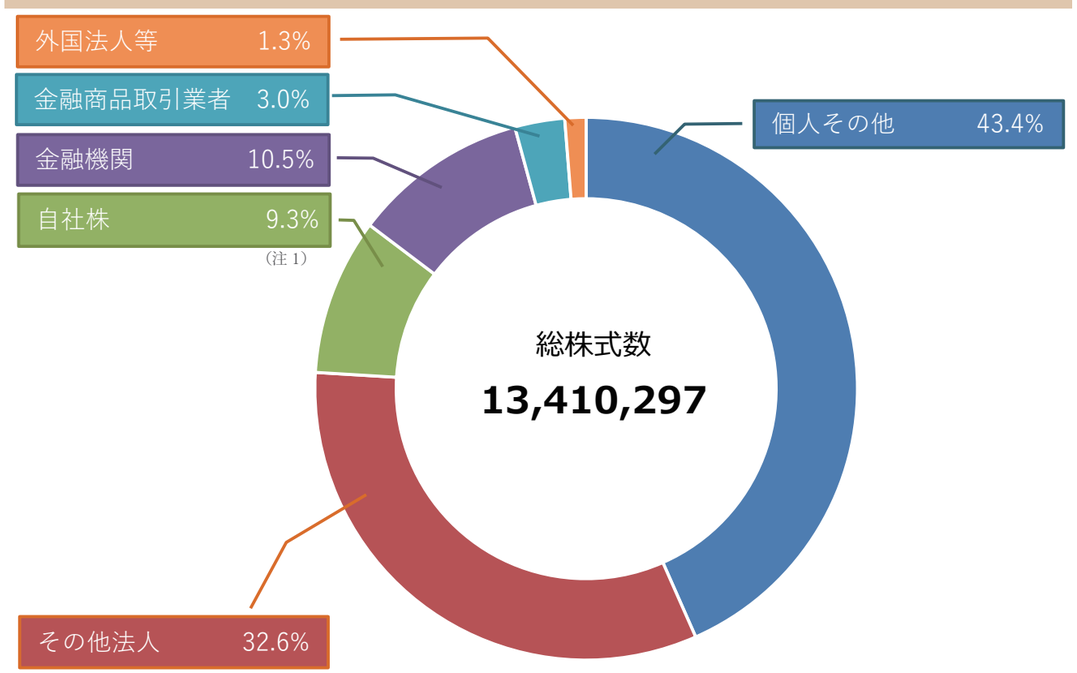
株主の状況

大株主の状況

2021 年 6 月 30 日現在

氏名 又は 名称	所有株式数（千株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
ＳＢＩホールディングス（株）	2,150	16.0%
（株）ビット・エイ	1,320	9.8%
自社株	1,173	8.8%
長尾章	559	4.2%
（株）ヤクルト本社	530	4.0%
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	378	2.8%
日本証券金融（株）	292	2.2%
岩崎泰次	258	1.9%
ソルクシーズ従業員持株会	221	1.7%
（株）日本カストディ銀行（信託口）	134	1.0%
豊田通商（株）	134	1.0%
その他	6,257	46.7%
計	13,410	100.0%

所有者別の状況（主体別所有者株式数）



（注 1）自社株には、株式給付信託（J-ESOP）制度の信託財産として、㈱日本カストディ銀行（信託 E 口）が保有する当社株式 79,100 株（0.6%）を含めております。

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

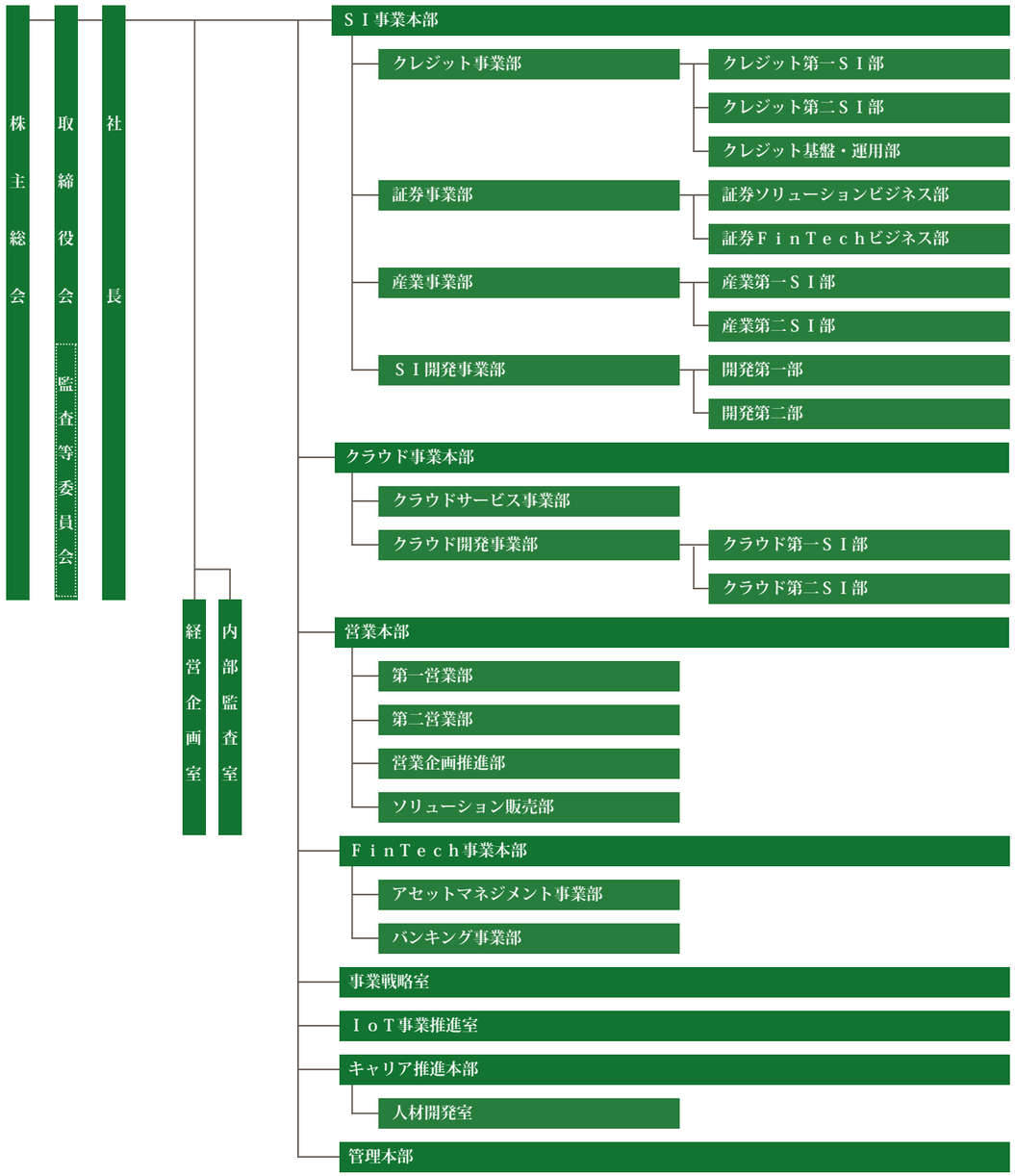
会社概要

社　　名	株式会社ソルクシーズ
設　　立	1981 年 2 月 4 日
資　本　金	14 億 9,450 万円
事業内容	ＳＩ／受託開発業務（システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守）、ソリューション業務（セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守）及び関連機器の販売等
所　在　地	本社　〒 108-0023　東京都港区芝浦三丁目 1 番 21 号 ℡ 03-6722-5011（代表）　Fax 03-6722-5021 東京 ANNEX　〒 108-0022　東京都港区海岸三丁目 9 番 15 号 福岡営業所　〒 812-0038　福岡県福岡市博多区祇園町四丁目 2 番 ℡ 092-283-8411　Fax 092-283-8412

役員一覧

代表取締役社長	長尾　章	
常務取締役	萱沼　利彦	クラウド事業本部長 兼 キャリア推進本部長 兼 人材開発室長
常務取締役	長尾　義昭	ＳＩ事業本部長 兼 営業本部長 兼 クレジット事業部長
常務取締役	秋山　博紀	経営企画室長
取締役	小森　由夫	ＳＩ事業本部副本部長 兼 FinTech 事業本部長
取締役	金成　宏季	管理本部長
取締役	渡辺　博之	
取締役	樺嶋　利保	SI 事業本部副本部長
取締役	江口　健也	クラウド事業本部副本部長 兼 クラウド開発事業部長
取締役	市川　恒和	事業戦略室長
取締役	甲斐　素子	管理本部副本部長　兼　経理部長
取締役 常勤監査等委員	石田　穂積	
取締役 監査等委員	中田　喜與美	
取締役 監査等委員	前田　裕次	
取締役 監査等委員	佐野　芳孝	

組織図



Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

【お問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ　経営企画室　秋山
E-mail: ir-post@solxyz.co.jp
Tel: 03-6722-5011
Fax: 03-6722-5021
https://www.solxyz.co.jp

【見通しに関する注意事項】

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われないようにお願いいたします。

Copyright © 2021 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

SOLXYZ

究極の問題解決を提供する会社へ

SOLXYZとは究極（XYZ）の問題解決（Solution）を提供したいという
願いを込めた社名です。私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指します。

https://www.solxyz.co.jp